

徒手療法論

[講義・演習] 第3学年 後期 選択 1単位

《履修上の留意事項》2020年度開講なし

《担当者名》 佐々木祐二 山根裕司

【概 要】

理学療法および作業療法において、関節可動性の改善と疼痛の軽減に対する徒手的治疗手技として関節モビライゼーションが用いられる。本科目では、関節モビライゼーションの治療原理、関節機能障害や痛みに対する評価ならびにその基本的治療手技について講義と演習を通して学習し、症候に適した関節モビライゼーション手技を選択できる基礎能力を身につける。

【学習目標】

リハビリテーションの重要な治療手技である徒手療法を実施するために各種徒手療法、特にモビライゼーションについて学び、解剖学、運動学などの知識をもとに症候に適した治療手技を選択し、実施できる。

【一般目標】

1. 徒手療法の基礎理論を理解し、説明することができる。
2. 各種徒手療法を理解することができる。

【行動目標】

1. 骨・筋・軟部組織を触診することができる。
2. 各種徒手療法をもちいて評価・実践することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	徒手療法総論	徒手療法の基礎理論 <キーワード> IFOMPT、骨運動学、関節運動学、構成運動、関節の遊び	佐々木祐二
2) 3	関節モビライゼーション	凹凸の法則 手・肘・肩関節の触診 手・肘・肩関節に対する手技 <キーワード> 凹凸の法則、エンド・フィール、ジョイント・プレイ、グレード	佐々木祐二 山根裕司
4) 5	関節モビライゼーション	足部・足・膝・股関節の触診 足部・足・膝・股関節に対する手技 脊柱・骨盤帯の触診 脊柱・骨盤帯に対する手技	佐々木祐二 山根裕司
6) 7	軟部組織モビライゼーション 神経モビライゼーション	横断マッサージ (deep friction massage) 機能的マッサージ (function massage) 等尺性収縮後弛緩法 (post isometric relaxation) テンションテスト下肢・体幹 テンションテスト上肢 <キーワード> 横断マッサージ、機能的マッサージ、神経モビライゼーション	佐々木祐二 山根裕司
8) 9	スタビライゼーション スリング・エクササイズ・セラピー	脊柱・骨盤帯・肩甲帯に対するスタビライゼーション・エクササイズ 関節トレーニングなどのスタビライゼーション・エクササイズ スリング・エクササイズ・セラピー <キーワード> スタビライゼーション、DYJOCトレーニング、スリング・エクササイズ・セラピー	佐々木祐二 山根裕司
10)	演習	関節モビライゼーション (上肢)	佐々木祐二 山根裕司

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
11			
12)	演習 ・	関節モビライゼーション（下肢）	佐々木祐二 山根裕司
13			
14)	演習 ・	関節モビライゼーション（手指） 軟部組織モビライゼーション スタビライゼーション	佐々木祐二 山根裕司
15			

【評価方法】

平常点 15%

定期試験 85%

平常点は、授業態度、積極性、予習・復習などの自主的学習態度で評価する。

定期試験は返却しないが、内容に関して確認に来ることが望ましい。

【備 考】

参考書：竹井仁・黒澤和生編集 「系統別・治療手技の展開 改訂第3版」 協同医書出版社 2014年
 藤縄理 「徒手の理学療法-Manual Physical Therapy」 三輪書店 2009年
 宮本重範監修 「マニュアルセラピー 臨床現場における実践」 ガイアブックス 2014年
 高田治実総監修 「エビデンスに基づいた徒手療法」 ガイアブックス 2012年
 富雅男・砂川勇監修 「整形徒手理学療法 Kaltenborn-Evjenth Concept」 医歯薬出版 2011年

その他：講義は配布資料を基に進める。

【学習の準備】

予習：授業で扱うキーワードについて、参考書、関連図書、インターネットなどを利用し、その語句の意味・意義を調べておくこと（80分）。

復習：配布資料や参考書、必要であればインターネットなどを利用し、学習を深めること。可能なかぎり、実践した技術を反復練習し、技術の習得を図ること（160分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP2）最新のリハビリテーション科学を理解し、保健・医療・福祉をはじめとするさまざまな分野において科学的根拠を有する専門技術を提供できる能力を身につけます。

（DP3）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

佐々木祐二（理学療法士）

山根裕司（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での理学療法士としての実務経験を活かし、各種モビライゼーション手技やスタビライゼーション手技などの実践方法について講義する。